



# 小千谷市立 総合支援学校 進路だより

No.3 (R3/10/21)

〒949-8721

小千谷市大字塩殿甲 2144 番地

TEL 0258-82-1878

## 高等部【後期】職場・校内実習10月25日スタート

後期職場実習がいよいよ始まります。

8月30日に新潟県独自の特別警報が発令され、学校としても事業所としても感染症収束の見通しが立たない状況が続きました。現在、特別警報は解除となり、後期は17の事業所様から実習生を受け入れていただけることになりました。「何事も当たり前ではない」ということを忘れず、感染症対策を取った上で実習生、職員一同しっかり学ばせていただきたいと思います。ありがとうございます。保護者の皆様からは短い準備期間の中、相談や日程調整にご協力いただき、誠にありがとうございました。いよいよ本番です。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

**1年生は初めての、3年生は最後の職場実習**となります。一人一人が具体的な目標を掲げて臨んでいますので、ぜひ成果を上げてください。

さて、普段の生徒の様子から「実習先では全員が実力を発揮できる」と予想しています。それだけ生徒たちは日々の学習に素直に前向きに取り組んでいます。

このような段階の生徒たちにとって、**実習での「学びの深さ」を決めるのは「準備」**に他なりません。そこで後期も全員が『**実習前3週間チャレンジ**』に取り組んでいます。

3週間チャレンジでは、**①体力**、**②学校生活**、**③家庭生活**の3項目で目標を設定し、毎日自己評価を行います。

ハードな目標設定になっていますので、**①**については苦戦する姿も見られます。

一方、**③**の家庭生活のチャレンジでは「家族全員分の食器を洗う」、「洗濯全般を担う」、「毎日ゴミ出しをする」など、**自立生活を強く意識した取組を毎日実践**している生徒がいます。

家事技能の習得以上に、「**家族の一員として『大人』と同等の役割を担った**」ということが生徒の**自信**になっているようです。中間報告に来る生徒はみな清々しい表情をしています。

**③**の家庭チャレンジを通して、本人のみならず私たち大人にも「これもできる!」という発見があったのではないのでしょうか。「任せてみよう」という気持ちを私たち大人が持ち続けることに、生徒の新たな成長の鍵があると感じました。

ご家庭のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



## ご家庭へのおねがい

### 1、実習中【緊張感をもった感染症対策で、活動を継続できるように】

○実習状況の把握・・・仕事の様子に加え、体調の確認もお願いします。

○身だしなみ・・・清潔な身なりで送り出してください。この機会に入浴、洗髪、整髪、爪切り、洗顔、歯磨き、衣服の管理(制服のリボンのゆるみやボタンの締め忘れ等)、消毒、うがい手洗い等が十分にできているか確認していただき、ご指導ください。



○生活リズム・・・特に睡眠の確保をお願いします。

睡眠不足では免疫力が落ち、感染リスクが高まります。実習中は体力だけでなく精神的にも大変疲れますので、いつもより多くの休養が必要です。睡眠を最大の感染症対策とお考えいただき、**8時間は確保**できるようにご指導ください。



○日誌記入と検温・・・「**保護者より**」の欄に一言、記入をお願いします。実習期間中も検温表を使用しますが、**日誌にも朝の体温を記入する欄があります**ので、**確実に記入**できているかどうかご確認ください。

○帰宅後の電話連絡・・・安全確認のため、**自力で通勤する生徒に限り**帰宅後すぐに学校へ電話連絡をお願いします。

○欠勤等の連絡・・・欠勤、遅刻の場合は、保護者から実習先と学校の両方に電話連絡をお願いします。

○実習中の体調不良・・・実習中に発熱等、新型コロナウイルス感染症に類似した症状が見られた場合は覚え書きの緊急連絡先にお伝えします。  
実習生を迎えに来ていただき、直ちに受診をお願いします。

### 2、実習後【貴重な機会が、次につながるように】

○実習後、実習先からの『**評価票**』や生徒の自己評価、職員の見取りをもとに『**進路面談**』を実施する予定です。面談では現状整理と今後の展望について、相談機関の方出席のもと具体的に相談させていただきます。実習中は卒業後の就業生活に近い過ごし方になりますので、この機会に将来の生活についてぜひお子様とお話してください。



# 後期 職場実習

事業所と実習内容について紹介します

	実習先事業所	紹介
福祉サービス事業所	ひかり工房 	『就労移行支援』（企業就労を目指して訓練する場）での実習です。今回の評価が、次回企業実習につながるかどうかの判断材料になります。当校の評価票は良し悪しのはっきり出る4段階評価です。オール3以上を目指して取り組みます！
	ひだまり工房 	『生活介護』で1名、『就労継続支援B型』で2名が実習します。3年生は卒業後の利用見極め、1年生は目の前の仕事に時間一杯取り組むことを目標に臨みます。
	さつき工房 	様々な受託作業があり実力次第で仕事の幅が広がります。日中作業と生活リズムのバランスもポイントとなる実習です。
	ワークセンター小千谷さくら	1年生が実習します。学校と違い、実習先にクラスメイトはいません。慣れない環境で力を発揮できるかどうか挑戦です。
	デイサービスセンターみなみ	前年に引き続きみなみ職員様と訓練を行います。実習生も成長していますので、活動のバリエーションを増やしたいです。
	アルファスブライト (長岡) 	前年に続き、就労継続支援A型に挑戦です。電車通勤です。4か月間の成果を発揮し、高評価獲得を目指します。期間の半分は他校の実習生と一緒に。良い刺激になると思います。
	工房ぼちぼち (十日町) 	成人式のカバンや草履を綺麗にする受託作業等、十日町ならではの仕事があります。前回で電車通勤はマスター済みです！本格的に卒業後の生活スタイルに近づいてきます。
	堀之内工芸 (魚沼) 	1年生が初めての職場実習に挑戦します。送迎車を利用させていただくという、より実践的な通勤スタイルになりました。送迎車からすでに実習がはじまっています。
	ワークセンターあんしん & エンゼル妻有 (十日町)	2年生が宿泊体験と組み合わせた職場実習に挑戦です。1泊2日と3泊4日の2回に分け、エンゼル妻有に一人で宿泊しながら歩いてワークセンターあんしんに通います。食事、入浴、洗濯、就寝等を一人でやります。「大人の階段」を登ります。
ワークショップ想(そう) 	10月より『就労継続支援B型』としてスタートし、2年生が初めての職場実習生です。8月の開所以来、2ヶ月間の試行錯誤を経て作り上げた主力製品の「パン」は、好評につき完売が続いているそうです。実習生もパン作りに従事する予定です。全く新しい福祉サービス事業所。実習生を中心に、支援同士もお互いに知恵を出し合い、良い活動を作っていけたらと思います。	

現場での経験は成功・失敗に関わらず全てが学びになります。

「皆様の役に立つ」という気持ちを持って、実習に臨んでほしいと思います。



	実習先事業所	紹介
企業	シンコー株式会社 	当校からは初めての实習ですが、実習生受け入れ、雇用実績ともに地域をリードする企業です。支援学校の卒業生が現在も活躍しています。「マイ雑巾」を「埋蔵金」と呼び、全社員で清掃してから一日がスタートする企業です。精密部品の製造工程に携わります。
	株式会社 木村食品 	お惣菜の調理キットを作る食品工場、立ち仕事です。前期に2年生実習生が良い評価をいただき、今回は「小千谷の後輩ならば」と1年生の実習を受け入れていただきました。しかし1年生も伊達ではありません。
	ケーエスエス株式会社 	3年生が就労を目指して実習に臨みます。6月頃、イオン近くに新工場（第3工場）が完成しました。第3工場は広々としたエントランスに充実の会議&食事スペース、バリアフリーも実現しつつ、さらに先の成長も念頭において作られているという、工場長様の熱い想いが詰まった建物になっています。小千谷の産業の屋台骨を支える超精密部品を製造している企業です。「地域とともに自分らしく生活する大人」の実現へ、前進あるのみです。
	わたや平沢店 	前期の3年生に引き続き、後輩の2年生が実習させていただきます。清掃から1日がはじまり、食器の洗浄が主な業務となります。実習生は準備として、3週間毎日家族全員分の食器を洗うというトレーニングを積んできました。メニューによって器が変わり、ゴミも瞬時に分別するという、「考えて判断する要素」の多い現場となります。笑顔も忘れずに頑張りましょう。
	株式会社 たかの 	「食品関係の仕事を経験したい」という生徒本人の希望により、実習をお願いしました。ご飯、お餅、蕎麦など食卓の主役となる食品を製造する企業で、生徒自作のレポートによると今年で70周年となります。希望の業種を通して、新たな自分を発見できるのではないかと期待しています。
	ガスト 小千谷店 	東京本部への申し込みから始まりました。3年生が就労の見極めとして実習します。食器の洗浄や補充が主な仕事ですが、達成状況によっては調理補助にも挑戦できるかもしれません。「皿洗いの仕事がしたい」という生徒の希望を受け探していたところ、月ヶ岡特別支援学校の紹介で今回の実習が実現しました。学校同士の協力の大切さも改めて実感しました。感謝です。
	ヴィラわか葉 	8月、原信桜町店近くに開所したばかりのサービス付き高齢者住宅です。法人のHPに紹介動画がUPされていますので、ぜひご覧ください。「介護補助」の仕事は「食品スーパー」と並んで支援学校の実習や卒業生の雇用で大変お世話になっています。新型コロナウイルスの影響を受け、しばらくは実習もお願いできない状況でした。今回は事前の健康状態や外出履歴提出、さらに抗原検査も実施します。健康の重みを感じる実習です。

〒949-8721

新潟県小千谷市大字塩殿甲2144番地 小千谷市立総合支援学校 進路指導主事(松川正太郎) TEL